

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※網戸ボックス落下防止のため、下記項目を厳守してください。
 ・ブラケットは指定のねじで固定してください。
 ・網戸ボックスは指定のねじで、強く締めすぎないように手締めで取り付けてください。
 強く締めすぎるとねじがきかなくなります。

■施工上のお願

- 開口部の水平・垂直は正確に出してください。網戸の操作に支障が出ます。
- 以下の場合には本製品は取り付けられません。
 [テラスドアの室内側にドアクローザーが取り付けられている場合]
 [テラスドアの上に他の窓が段差されている場合]

■部品・ねじ一覧表

※取り付け前に梱包内の部品を確認してください。

■本体用

上部スペーサー	下部スペーサー
床材総厚24mm用 下部スペーサー	Φ3.5×20丸木ねじ
	M4×6ナベ小ねじ

■ガイドレール用

ガイドレールアタッチメント	ガイドレールヘッド	インナーレール	Φ4×13ナベテクスねじ
切欠き	ガイドレールキャップ	切欠き	

■取付け順序

1 部品の加工

(204テラスドア用)

●部品の加工は不要です。

(204テラスドア単純段差用)

床材総厚27mmの場合

●部品の加工は不要です。

床材総厚24mmの場合

●ガイドレールアタッチメント下部を、右図に従い加工します。

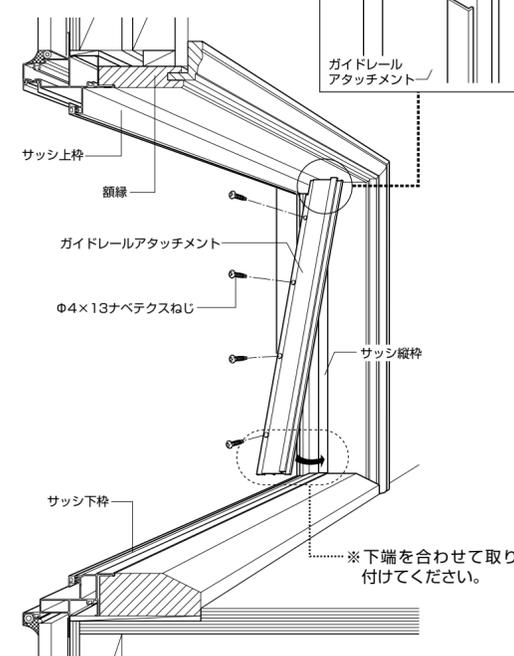
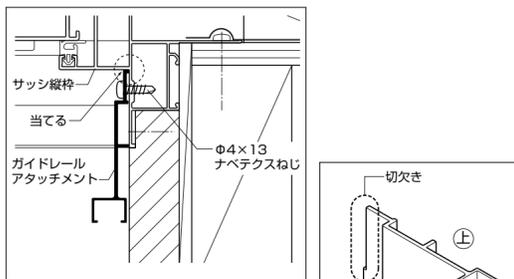
床材総厚28～40mmの場合

●以下の部品を、(床材総厚=27mm)分切り詰めます。

部 品	切詰め方向
ガイドレールアタッチメント	下 部
ガイドレールヘッド	上 部
インナーレール	下 部

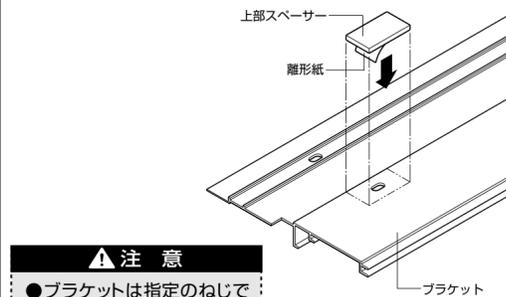
2 ガイドレールアタッチメントの取付け

- ①ガイドレールアタッチメントの切欠きのある方を上に向けます。
 - ②左右ともサッシ縦枠に当て、ねじ止めします。
- ※ねじ止めしにくい場合は、ガイドレールアタッチメントの穴に合わせてサッシ縦枠に下穴(Φ3.6)をあけてください。



3 ブラケットの取付け

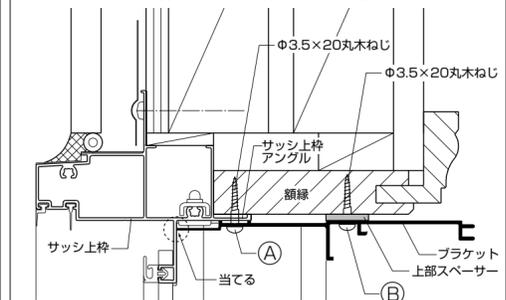
- ①額縁とサッシ上枠アングルに段差がある場合は、上部スペーサーの離形紙をはがし、ブラケットの穴の上から張り付けます。
- ②サッシ上枠両端の額縁固定用皿木ねじを外します。
- ③ブラケットをサッシ上枠のフィンに当てます。
- ④サッシ上枠のねじ穴にブラケットの穴を合わせ、A部をねじ止めします。
- ⑤ブラケットが水平になるよう、B部をねじ止めします。



▲注意

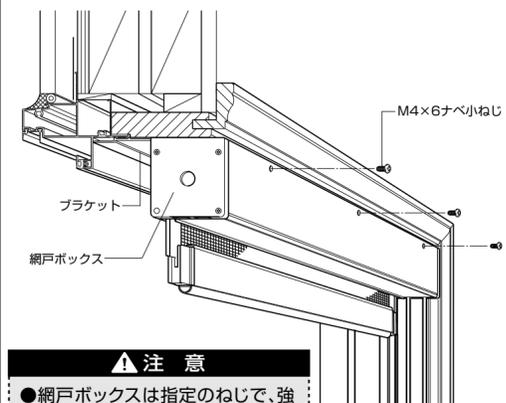
●ブラケットは指定のねじで固定してください。

※額縁とサッシ上枠アングルに段差がある場合



4 網戸ボックスの取付け

- ①網戸ボックスをブラケットに引っ掛けます。
- ②左右のチリを均等にし、ねじ止めします。



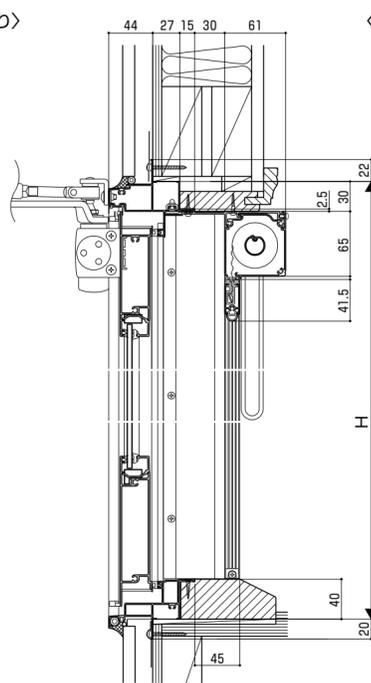
▲注意

●網戸ボックスは指定のねじで、強く締めすぎないように手締めで取り付けてください。強く締めすぎるとねじがきかなくなります。

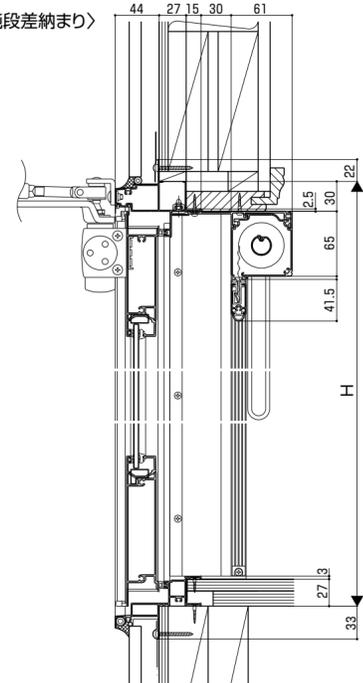
■参考納まり図

●縦断面図

<204納まり>

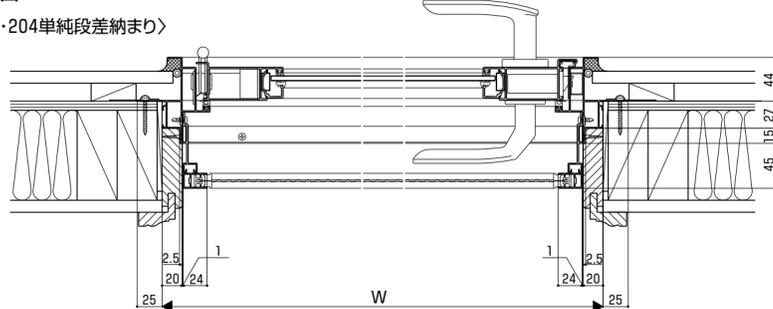


<204単純段差納まり>



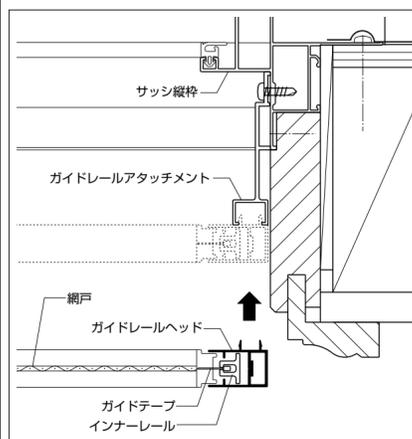
●横断面図

<204・204単純段差納まり>



5 ガイドレールヘッドの取付け

- ①網戸ボックスの操作ひもを引き、網戸を10cm程引き出します。
- ②ガイドレールヘッドの、ガイドレールキャップの付いている方を下に向けます。
- ③網戸左右のガイドテープの先端を、インナーレールの透き間に上から差し込みます。
- ④ガイドレールアタッチメントにガイドレールヘッドをはめ込みます。



【テラスドアのサッシ下枠と額縁(床)との間に段差がある場合】

- ①下部スペーサー(床材総厚24mm用下部スペーサー)の左右を確認します。
 - ②単純段差納まりで床材総厚24mmの場合は、下部スペーサーを下図に従い切り詰めた後、床材総厚24mm用下部スペーサーをその下に張り付けます。
 - ③下部スペーサーをガイドレールヘッド下部にはめ込みます。
- ※ガイドレールヘッドをガイドレールアタッチメントにはめ込む際は、下に下部スペーサーを差し込んでください。

<床材総厚24mmの場合>

